

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介
 つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら◆鍼灸てのひら治療院



vol. 250通信
 R3年6月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！

《利用状況案内板 (☆募集中★満員)》

☆ナイス・ケア

☆ナイス・デイ (定員 10名)

月	火	水	木	金	土
7	7	6	7	6	8

☆ナイス・ホーム (定員 17名、現在登録者 13名)

☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 10名)

☆つしま紹介所 (有料職業紹介)

《6月行事予定》

20日 避難訓練

※少しずつ外出等は行っていますが、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、密になる行事は自粛しています。

※今後の行事予定も状況に合わせて変更する可能性があります。ご了承下さい。

《営業に関するお知らせ》

- ・打太鼓 → 休止中
- ・コーラス → 休止中
- ・ナイス・キッズ (学童・託児) → 令和3年度:受け入れ休止中
- ・喫茶てのひら → 時短営業(9:00-12:30) ※10名までの人数制限中
- ・鍼灸てのひら治療院 → 利用者さん・職員に限定し営業

詳細はお問い合わせ下さい。



【相手と向き合うこと/S・O・S】

コロナの影響だ。誰かと顔を合わせて“向き合うこと”がめっぽう少なくなった。でも、介護は“向き合うこと”が無くては成り立たないものだと思っている。

本人がどうありたいか、その家族がどうありたいか、何が可能なか、そこに私たちがどう関われるか、そしてどう関わらせてもらいたいかな…顔をみて言葉でお互いを知りたい。このご時世だからこそ、向き合い、とことん話、少しでも分かり合いたい。その人、一人一人の人生に、真正面から関わりたい。

本当はマスクを外して、表情が見たい。人の表情って大切だ。今は生きるためにマスクをしているけれど(感染予防)、生きるためにマスクを外して表情と言葉で触れ合いたい。そんな矛盾と日々、葛藤しているのは、私たちだけじゃないだろう。

透明マスクでも開発されないかしら。(M・T)

【複数の担当者/ナイス・ケア】

ナイス・ケアでは、訪問介護が週1回の利用者さんに対して3名以上の担当者がいます。

『何故そんなに担当者が必要なの？1-2名で十分じゃない？』と言われることは多々。

それでも、長年訪問介護を担ってきた事業所としては主に2点の理由が念頭にあります。

- ① 担当者1-2名では、年間～数年の関わりを想定するとスタッフ諸事情でお休みをもらう日が重なり、サービス提供が困難な日程が発生する可能性がある。
- ② 利用される方の事情により『基本利用予定を変更できないか？』と尋ねられた時、また、“急な体調不良”などで『訪問回数及び時間数を増やしてほしい。』と希望された時にこそ適切にいつもの担当者で対応したい。

『複数の担当がいることで、サービス内容や時間配分、手順等がバラバラになるのでは？』と心配されることもありますが、基本的な情報は共有しています。そして、できる限り統一したサービス提供が出来るよう利用者さん1人毎、訪問1回毎のタイムスケジュールも作成します。

もちろん、書面で分からないことは多々あります。その時々状況次第で様々な変化があるのも生活だから当たり前と受け止めています。

何より、利用者さんと複数名の担当者が関わるからこそ、お互いに思いかけない一面が垣間見れることもあり。それもまた楽しみのひとつにしたいだけだと嬉しいです(笑)(K・N)



登録家政婦さん、介護スタッフさん大募集♪

【介護従事者のコロナワクチン接種(裏?)事情~/S・O・S】

3月、医療・介護従事者のワクチン接種が優先されるニュースが流れる中、待ちに待ったワクチン接種についての通知文書が届いた。目を通した直後、愕然とした。

“居宅サービス事業所等が、新型コロナウイルス感染症により自宅療養中の高齢の患者及び濃厚接触者に直接接し、介護サービスの提供等を行う意向を市町村に登録。上記事業所の職員で、当該介護サービスの提供等を行う意思を有する方について、市町村が優先接種の対象に含むことができることとされています。”という内容であった。

「何?何?え??一体何が言いたいのか!?’と、読み込むうちに…要は…、

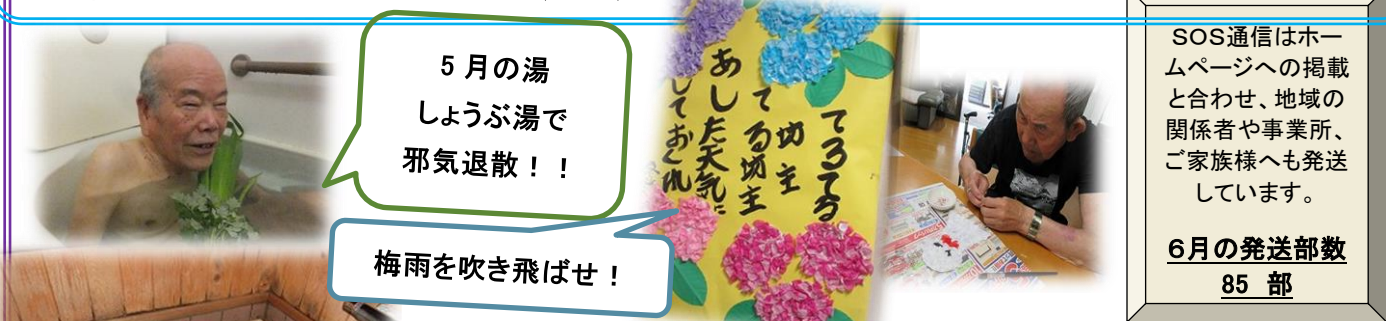
★市の要請に応じ、コロナ感染もしくは濃厚接触と診断された高齢者に対して、積極的にサービス提供を行うことを約束した事業所とその従事者にはコロナワクチンの接種順位を高くします。早くワクチン接種したいなら誓約書を提出して下さい。とやっとなら理解した!!

『その優先順位の趣旨を理解した上で優先順位を希望します。氏名』という様式まで加えてあるではないかあ～(笑)あ～あ、なんて親切なこと(涙)

施設サービス(有料老人ホーム等)配置の介護職員は何の条件もなく優先順位は高い。けれど、訪問介護員や通所介護、小規模多機能居宅介護のような、あくまでも在宅生活している高齢者に対してサービス提供を行う従事者は“誓約書”を書かなければ優先順位が高くない。

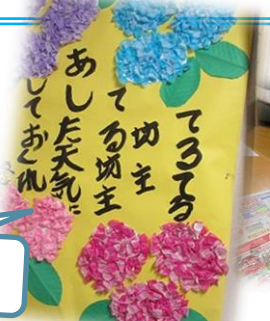
デイサービスで感染者が発生したら事業所閉鎖され、在宅サービスに切り替え対応など、イザというときはヘルパー利用を提案するよう国が推奨している中、居宅サービス従事者のワクチン接種に、なぜ登録や制約を課すような条件を出すのか意味が分からない。

違和感を感じながら通知内容を訪問介護員等のスタッフ達に伝え色々話した。結果、“SOSの在宅サービス従事者は優先順位を高めるための申し出はしない。一般条件で順番を待つ”ことにした。つまり、SOSでは“愛宕の家の従事者”と“65歳以上の接種券を持つ職員”だけが順次ワクチン接種している状況なのだ。在宅サービス従事者の悲痛な現実を知ったら、そんな制約できないはずだと思うなあ。(M・T)



5月の湯
 しょうぶ湯で
 邪気退散!!

梅雨を吹き飛ばせ!



SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

6月の発送部数
 85部

《編集後記》暑い日が続いています。「こんなに暑いのにマスクなんて…」と、一年前も同じ想いでした。今は、苦しくて体調を崩すくらいなら適宜マスクを外して体調管理するという判断もありだと思っています。「マスクして感染対策」と「マスクを外して体調管理」は同じくらい大切なのは?節度を守ればの話です。(Y・O)

【管理者等変更のお知らせ/S・O・S】

ご挨拶が遅れましたが、以下の通り配置変更しております。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

◆訪問介護ナイス・ケア 令和3年2月より
 管理者: 田口 峰子 (前任者:野口 和江)
 サービス提供責任者: 野口 和江
 ※2名サ責の内1名退任:秋本 裕子



◆通所介護ナイス・デイ 令和3年4月より
 管理者: 田口 峰子 (前任者:飯尾 淑子)

◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家 令和3年4月より
 施設長: 田口 峰子 (前任者:飯尾 淑子)

【感染対策の影響か.../愛宕の家】

2年程前に入居されたAさん。入居前、物忘れは多少ありましたが身の回りの事など生活に困る程ではなく、自立した生活を送っていました。しかし、入院をきっかけにひとり暮らしに対する不安が大きくなり、退院後にそのまま入居を決意。

入居後も認知症は緩やかに進行していましたが、昨年からのコロナウイルス感染対策により、社会生活(外出)の自粛やマスク着用で表情の見えない関わりが始まってからというもの、あれよ、あれよという間に急速に認知症が進行。

現在では、「家族が待ってるで帰らないかん。」と慌てて行動し始めたり、入歯洗浄剤を飴と思い込んで食べようとする姿も見られます。

そんな時、マスク顔で話しかけても更に興奮してしまい「胸があぶつ!胸があぶつ!!」と泣き叫んだり・怒ったりと更に不安になるばかり…。

ところが、マスクをしていない入居者Bさんの「私がここに泊まると、あんたも安心して泊まればいいが。」や「もっと美味しいもの食べたいなあ。」等の声掛けに、落ち着いていく様子も見られます。

感染対策のマスク装着が難しい入居者さんの存在をこんなに頼もしく感じる日が来るとは。。。認知症の方に、マスク装着や、外出自粛のストレスがどのように現れるのか。私たちは言いようのない怖さを噛みしめています。(K・T)

